

令和7年度第2回輸送専門部会（議事要旨）

1 日 時 令和7年10月3日（金） 9時30分～10時30分

2 場 所 山口地方合同庁舎2号館5階共用会議室

3 出席者 公益代表委員 3名
労働者代表委員 3名
使用者代表委員 3名

4 議 題

- （1）金額審議について
- （2）その他

5 議事要旨

- （1）金額審議に入る前に、事務局から資料について説明した。
- （2）労使代表委員からそれぞれ基本方針が述べられた。

労働者側委員から、輸送産業を自動車、造船、鉄道、自転車に分けそれぞれの情勢の説明が行われ、「産業の魅力向上や人材確保のためには地賃の上昇と同レベルの引上げが必要不可欠であり、「輸送産業をとりまく環境、企業の持続的な発展、地域別最低賃金に対する優位性」などの総合的な観点から提示を行う。そのため、対地賃率をV字回復させるべく、一昨年以来主張している1,120を用いると1,169円が適正額となるが、一方で労働協約最低時間額の1,141円は尊重すべきという観点からすると、今回は、引上げ額53円、時間額1,141円を提示する」との意見であった。

使用者側委員から、「輸送産業は本県の基幹産業であり、その魅力を維持し、人材確保のためには地域別最低賃金に対する優位性を維持していくことが必要であるとの認識に立つ。ただ、中小・小規模事業者においては経営基盤が脆弱であるため最賃の引上げの影響を受けやすく、ここ数年は実力以上の賃上げも強いられてきたことも考慮したい。そのため、今年の県の春季賃上げ要求・妥結状況のうち、企業規模300人未満の賃上げ率4.64%を適用し、引上げ額50円、時間額1,138円を提示する」との意見であった。

次回へ継続審議となった。

(3) 事務局から、今後の開催日程について確認が行われた。